

# にじのき保育園 30年度全体の計画

保 育 理 念		笑顔のために	保育方針	・安心できるみんなのおうち ・色々な体験を通して心を動かす ・共に過ごし、共に育つ
保育目標		・身近な人の愛情を受け、心豊かに育つ ・様々な経験を通し、葛藤しながら自我が育つ	・身近な人に共感してもらい、自己肯定感を高める ・達成する喜びを感じ、次への意欲を育む	・本物を見たり、触れたりする中で、様々なことに興味を持つ・興味関心の中で「やってみよう」という意欲を持つ ・友だちとの関わりの中で思いやりの気持ちを育み人間関係の基礎を培う
発達過程		① おおむね6か月未満 ③ おおむね1歳3か月から2歳	・特定の大人との間に情緒的な絆の形成 ・心身の著しい発達 ・歩行の開始と言葉の習得 ・人や物との関りの意欲の高まり	② おおむね6か月から1歳3か月 ④ おおむね2歳 ・運動機能の発達による活発な探索活動 ・愛着と人見知り ・身の回りのことを自分でしようとする ・自己主張、模倣遊び
ねらい		【養護】・くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る ・健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を養う ・人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い道徳性の芽生えを養う		
		【教育】・生命、自然についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う ・生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養う ・様々な経験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う		
年齢		0歳児	1歳児	2歳児
内 容	養護	・保健的で安全な環境を作り、常に身体の異常を把握し、疾病異常は早く発見し、快適に生活できるようにする。 ・一人ひとりの子どもの状態に応じて、スキンシップを十分に取しながら、心身ともに快適な状態を作り、情緒の安定を図る。	・保健的で安全な環境を作り、快適に生活できるようにする。 ・一人ひとりの子どもの欲求を受け止め、スキンシップを取り、安心してすごせるようにする。	・身の周りの安全、清潔の習慣が少しずつ身につくようにする。 ・一人ひとりの気持ちを理解し、信頼関係を深め自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。
	健康的な心と体 (身体的発達)	・一人一人の発育に応じて、はう、立つ、歩くなど、十分に体を動かす。 ・個人差に応じて授乳を行い、離乳を進めていく中で様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。 ・保育士等の愛情豊かな受容の下で、生理的・心理的欲求を満たし、心地よく生活する。	・食事、排泄、睡眠、着脱など身の回りのことに興味を持ち自分でやろうとする。 ・手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。 ・自分で取り組もうとするが出来なかった時の葛藤も感じ、自我が育つ。	・スプーン、フォークなどを使い、一人で食べる満足感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、歩く、走る、跳ぶなど様々な動きをしようとする。 ・身の回りのことで出来ることが増え、達成感や満足感を得る。
	身近な人との関わり(社会的発達)	・温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。 ・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼関係を深める。 ・生活や遊びの中で、自分の身近な人の存在に気付き、親しみの気持ちを表す。	・周囲の子ども等への興味や関心が高まり、関わりを持とうとする。 ・保育士等の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身につける。 ・保育所の生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気付く。	・友達との関わりが深まり、思いやりの気持ちを育み人間関係の基礎を培う。 ・自己主張が強くなり、ぶつかり合いも多くなる中で、保育士等の仲立ちにより友達との関わり方を身につける。
	身近な物との関わり(精神的発達)	・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持つ。 ・玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。	・本物に触れる中で生き物や自然の名称・特徴に興味を持ち、深い理解や想像性を育む。 ・自由にコーナーを選び、好きな遊びを見つけ、満足できるまで遊び込む。	・本物に触れ、生き物や自然の名称・特徴に興味を持ち、探求する意欲を育む。 ・自然物や紙、粘土など様々な素材に触れ、材質や触感を味わい、その素材ならではの遊びの楽しさを感じる。
配 慮 事 項		・子どもの様々な欲求を満たし、特定の保育士等が継続的に関わることで子どもとの信頼関係が十分築くようにする。 ・食事、排泄、睡眠、着脱など、基本的な生活習慣に関しては、子ども一人一人の発達・発育を十分に考慮した上で家庭との連携の下で行う。 ・運動機能や興味関心に合わせた玩具の提供、コーナーの配置などを、子どもの発達・発育を捉え適切に構成する。	・自分でやりたい意欲を尊重しながら、出来なかった時には次への意欲に繋がるような動きかけを行う。 ・自我の育ちを見守り、受け止めながら保育士等が仲立ちとして友達との関わりを丁寧に伝える。 ・本物に触れる中で保育士等が総称を使わず、名称や特徴などへの興味・関心を引き出していく。	・自分でやろうとする気持ちを尊重しながら、子ども一人一人に合った援助を行う。 ・子どもの自我の育ちを見守るとともに、保育士等が仲立ちとなって自分の思いを相手に伝えることや相手の気持ちに気付くことの大切さなど、友達との関わり方を丁寧に伝える。 ・本物に触れる中で、興味・関心を持ったことに対して名称や特徴を伝えるとともに、分からないことを一緒に調べたりしながら探求への意欲を高める。
健 康 支 援		・入所時健康診断 ・全園児検診(年4回) ・歯科検診(年2回)	安 全 対 策 事 故 防 止	・避難・消火訓練(毎月1回)

保護者・ 地域への支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの園生活や健康状態、事故の際の状況説明など、家庭との密接な連携を取る。</li><li>・子育ての悩みや園への要望などを相談しやすい環境を作り、保護者との信頼関係、協力関係を築いていく。</li><li>・土曜保育の際の地域開放、ブレママ、子育て支援活動など、地域に根差した保育所を目指す。</li></ul>
食育計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・【食】に興味をもてるようになる。</li><li>・旬の食材を味わい、食事の楽しさを知り、【食】に親しむ。</li></ul>